

# はこだて根崎地区昆布の森推進プロジェクト

函館市は昆布の生産量「全国一」を誇り、根崎地区の沿岸は白口浜、黒口浜と並ぶ本場折浜として古くから昆布漁が盛んな地域である。  
また、暖流と寒流の混合海域である津軽海峡に面し、暖流系、寒流系の両方の多様な海藻類が確認される貴重な地域である

漁業者が中心となり約50年もの間、藻場保全の取り組みが続けられている。

海洋環境の急激な変化  
燃油価格や資材の高騰

漁業者が守り続けてきた  
天然藻場の危機

漁業者の高齢化  
担い手不足

3つの施策で持続可能な漁業モデルの創出を目指す。

1

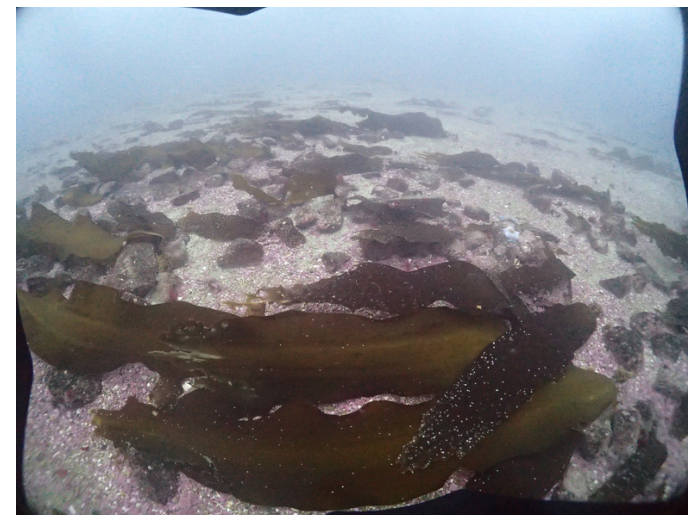
養殖昆布によって得られるブルーカーボンをクレジットとして売却し、藻場再生、保全活動の原資とする。

2

水中ドローンや画像解析など最新のテクノロジーを用いて藻場保全活動の効果を可視化する。

3

地域の子供たちとの交流を深め、海藻を知る機会を創出し、地域を担う人材を育成する。



はこだて根崎地区昆布の森推進協議会・海とこんぶの森プロジェクト・富士通株式会社